

学校保健

THE SCHOOL HEALTH No.206

(財)日本学校保健会

生涯にわたり心豊かで
たくましく生きぬく子どもの育成
—のぞましいライフスタイルの
確立をめざして—
第45回全国学校保健研究大会の主題
(平成7年度・徳島県)



兵庫県南部地震の大きな爪あと

(財)日本学校保健会 副会長 藤 戸 孝 純

去る1月17日未明に兵庫県南部地区を襲った直下型大地震は、死者5,400余人、負傷者約30,000人、倒壊及び焼失家屋10万棟に及ぶ戦後最大の人命・財産の被害をもたらし、阪神の都市機能は一瞬にして壊滅した。学校関係の犠牲も多く、兵庫県内では児童・生徒334人、教職員23人、大阪府でも児童・生徒5人と教職員1人の尊い生命が失われた。(1月末調査)

被災地の学校もその総べてが多かれ少なかれ損傷を蒙り、また必然的に休校となったが、その校舎は避難者の多くを受入れ、地区の唯一の防災拠点的な役割を果たしている。1ヵ月を経た今日も、22万の人々が厳冬下、不自由な避難所生活を強いられているが、最近は大部分の学校が何らかの形で授業を再

開するにいたった。また、2万人以上の学童が兵庫県内外に転入、新しい学校生活を始めている。

このたびの地震による被害は約10兆円と見込まれており、復興には巨額の費用と少なからぬ年月を要するであろうが、その爪あとは単に物資面や、心身面のみでなく、人々の精神面においても評価し難い深く大きな爪あとを残した。

この大地震による苦痛は破局的ともいえ、特に辛い目にあった子どもは、成長途上におけるダメージが大きい。既に、精神科医の呼びかけもあり、兵庫県教育委員会においても教員の研修や、巡回相談等が計画されており、被災児に対する心のケアが徹底することを強く期待するとともに、そのためのバックアップの労を惜しんではなるまい。

多くの建物が倒壊した
神戸市内



1月26日、被災地の救援対策を視察した
村瀬会長(右端)

目 次

- スクールカウンセラー
導入について …2
- 学校保健募金に関する
会計報告 …3
- 内科医がみた糖尿病の
小中高生 …4
- 全国学校保健協議大会…5
- 北から南から—佐賀県…6
- 学校保健会だより …7
- 募金協賛者ご芳名…8~11

会報をよくするため、読者のご意見を求
めています。お葉書をお寄せください。

スクールカウンセラー導入について

◆1月17日未明に発生した阪神大震災は、想像を絶する被害をもたらした。現在まで被災地にある幼・小・中・高校・特殊教育諸学校を離れ、全国各地に転入学した児童・生徒は2万人を突破し、転入先で供給された教科書も計10万冊を越えた。

文部省は、2月2日、都道府県教育委員会に対して震災で転入学した児童・生徒に対して臨時の健康相談や心の問題を扱う相談活動を実施するよう通知した。また、必要に応じて相談活動は、カウンセリングの専門家に依頼することなどを要請した。

◆文部省は、増え続ける不登校対策として児童・生徒の悩みの相談に乗る専門のカウンセラーを学校に配置する計画をスタートさせるべく新規予算を要求していた。また、昨年11月、愛知県で発生した中学2年生のいじめを苦にしての自殺事件を契機として、世論をまきこんだ「いじめ対策」は大きな社会問題に発展してきた。

◆最新の情報によると文部省は、新規事業として次の対策を行うことになった。

スクールカウンセラー活用調査研究委託

平成7年度予定額 306,534千円
(趣 旨)

学校におけるカウンセリング等の充実を図るため、高度に専門的な知識・経験を有する「スクールカウンセラー」の活用、効果等に関する実践的な調査研究を各学校において行い、もって児童・生徒の問題行動等の解決に資する。

(内 容)

1. 委託箇所数 141校(小・中 高等学校を対象として各都道府県3校)
2. 委託先 都道府県又は市町村教育委員会
3. 委託期間 原則として2年間
4. 事業内容
 - (1) スクールカウンセラーの資格
財団法人日本臨床心理資格認定協会の認定に係

る臨床心理士など、児童・生徒の臨床心理に関して、高度に専門的知識・経験を有する者。

(2) スクールカウンセラーの職務

- ア 児童・生徒へのカウンセリング
- イ 教職員及び保護者に対する助言・援助
- ウ 児童・生徒のカウンセリング等に関する情報収集・提供
- エ その他、児童・生徒のカウンセリング等に関し各学校において適当と認められるもの

(3) 勤務形態等

- ア スクールカウンセラーの勤務形態は、非常勤とする
- イ スクールカウンセラーは、原則として週当たり2回(1回4時間)程度の勤務を標準とする

◆これを受けて、都道府県教育委員会は、新年度から調査研究委託校を指定することになる。

調査によると、これまでも不登校に対する取り組みで青森、愛知、広島など17都道府県が学校の要請に応じ自主的に派遣しているが、定期的に派遣しているところはないという。

◆この他、文部省は生徒指導の充実強化のため、国立教育会館に「いじめ問題対策センター(仮称)」を設置し、全国のいじめ問題に関する学校の対処事例データベースや、パソコン通信等を通じての必要な情報を提供する。 予定額 91,000千円

◆(財)日本学校保健会は、早い時期から「ヘルスカウンセリングの充実」を提唱してきた。われわれは調査研究校の実践に大きな関心を持ち、自校の児童生徒の「こころの健康」について校内外の状況にいつそう注目するときと考える。この制度は、各研究調査校の方針が明らかにされると思うが、導入される意味からも、スクールカウンセラーの学校との連携と学校環境の調整が一番のポイントと考える。

(文責・松本國夫委員)

学校保健募金業務に関する会計報告 (1995年2月2日現在)

1. 収入の部

① 入金 (129企業・団体)	52,210,901円
(個人 5,640名)	60,800,730円
② 銀行利息	16,698円
小計	113,028,329円
③ 企業・団体申込入金予定額	9,600,000円
合計	122,628,329円

2. 支出の部

① 印刷代 (パンフレット、趣意書、しおり等)	
② 印刷物送料	
③ 事務局費 (礼状、封筒、切手等)	
④ 銀行振込手数料	
⑤ 郵便局振込手数料	
合計	9,064,508円

3. 現金収支差額

入金・利息	113,028,329円
支出	9,064,508円
差引額	103,963,821円
[参考]	
現金	0円
定期預金	
住友銀行	15,000,000円
三菱銀行	70,000,000円
銀行預金	17,712,171円
郵便振替	1,251,650円
合計	103,963,821円

協賛団体都道府県別一覧 2月2日現在 単位円

県名	団体数	合計金額	県名	団体数	合計金額
北海道	2	100,000	滋賀	5	250,000
青森			京都	2	61,320
岩手	1	50,000	大阪	1	50,000
宮城	2	80,000	兵庫	20	1,050,000
秋田	1	50,000	奈良		
山形			和歌山		
福島			鳥取	1	30,000
茨城			島根		
栃木			岡山	3	1,100,000
群馬	1	500,000	広島	2	100,000
埼玉			山口	1	50,000
千葉	2	100,000	香取	1	50,000
東京	51	44,189,581	島	1	50,000
神奈川	13	2,100,000	愛媛		
山梨	1	1,000,000	高知	1	50,000
新潟	1	30,000	福岡		
富山	1	50,000	佐賀		
石川	2	100,000	長崎	1	50,000
福井	1	20,000	熊本		
長野	2	100,000	大分	1	50,000
岐阜	2	350,000	宮崎		
静岡	3	200,000	鹿児島		
愛知			沖縄		
三重	3	250,000	合計	129	52,210,901

協賛個人都道府県別一覧 2月2日現在 単位円

県名	個人数	合計金額	県名	個人数	合計金額
北海道	4	25,000	滋賀	27	320,000
青森	9	100,000	京都	2	60,000
岩手	2	20,000	大阪	8	270,000
宮城	121	1,210,000	兵庫	862	8,865,000
秋田	7	85,000	奈良		
山形	1	50,000	和歌山	3	70,000
福島	3	70,000	鳥取	46	415,000
茨城	12	176,000	島根	7	40,000
栃木	1	5,000	岡山	62	605,000
群馬	48	500,000	広島	2	15,000
埼玉	8	80,000	山口	150	1,015,000
千葉	17	230,000	香取	4	25,000
東京	2259	26,387,100	島		
神奈川	1603	16,220,000	愛媛	3	25,000
山梨			高知	2	15,000
新潟	50	359,790	福岡	20	160,000
富山	8	70,000	佐賀	4	40,000
石川	5	40,000	長崎	8	55,000
福井	3	40,000	熊本	1	500,000
長野	2	60,000	大分	1	5,000
岐阜	8	66,840	宮崎	4	20,000
静岡	17	270,000	鹿児島	1	10,000
愛知	105	850,000	沖縄	2	6,000
三重	128	1,350,000	合計	5640	60,800,730

「学校保健募金」団体ご協賛者ご芳名

<三師会関係>

- 日本医師会
- 男鹿市南秋田郡医師会
- 兵庫県神戸大学医師会
- 兵庫県多紀郡医師会
- 富山県新湊市医師会
- 大分県別府市医師会
- 静岡県引佐郡医師会
- 石川県医師会
- 岡山県御津医師会
- 岡山県和気医師会
- 北海道滝川市医師会
- 兵庫県洲本市医師会
- 兵庫県小野市加東郡医師会
- 北海道恵庭市医師会
- 徳島県名東郡医師会
- 京都府京都市医師会
- 広島県因島市医師会
- 滋賀県歯科医師会
- 兵庫県西脇市多可郡医師会
- 岩手県盛岡市医師会
- 千葉県千葉市医師会
- 静岡県我孫子市医師会
- 静岡県歯科医師会
- 宮城県角田市医師会
- 香川県高松市医師会
- 長崎県大村市医師会

- 石川県加賀市医師会
- 東京都大森耳鼻咽喉科医会
- 東京都渋谷区医師会
- 東京都世田谷区医師会
- 鳥取県中部医師会
- 東京都練馬区医師会
- 山口県下松市三師会
- 兵庫県美方郡医師会
- 兵庫県加西市医師会
- 東京都玉川区医師会
- 兵庫県津名郡医師会
- 東京都新宿区医師会
- 兵庫県相生市医師会
- 大阪府学校薬剤師会
- 兵庫県豊岡市城崎郡医師会
- 兵庫県宝塚市医師会
- 東京都目黒区医師会
- 兵庫県永上郡医師会
- 滋賀県医師会
- 兵庫県神崎郡医師会
- 兵庫県龍野市医師会
- 滋賀県草津市栗太郡医師会
- 滋賀県高島郡医師会
- 東京都府中市医師会
- 兵庫県揖保郡医師会
- 東京都田園調布医師会
- 滋賀県湖北医師会連合会

- 高知県学校薬剤師会
- 三重県伊勢市医師会
- 東京都板橋区医師会
- 兵庫県赤穂市医師会
- 新潟県燕市医師会
- 三重県伊勢市歯科医師会
- 三重県伊勢市学校薬剤師会
- 東京都足立区学校医会
- 岐阜市医師会
- 山梨県医師会
- 東京都三鷹市医師会
- 徳島県医師会
- <各種団体>
- 広島県公立高等学校長協会
- 日本教育シユーズ協議会
- 希望の家療育病院
- 神奈川県歯科医師国民保険組合
- 神奈川県歯科医師信用組合
- 神奈川県歯科用品商組合
- 東京都江東区学校保健会
- 岐阜県学校保健会
- 福井市学校保健会
- 京浜健診クリニック
- 全国医師協同組合連合会
- 予防医学事業中央会
- 岩井医療財団

- 東京都港区学校保健会
- 全国養護教諭連絡協議会
- 神奈川県学校保健連合会
- 兵庫県洲本市学校保健会
- 宮城県名取市学校保健会
- ライオンズクラブ
- 330A地区GRIZ
- 香川県学校保健会
- <一般>
- 東京海上火災保険株式会社
- 朝日生命保険相互会社
- 千代田生命保険相互会社
- 安田火災海上保険株式会社
- 第一生命保険相互会社
- 日本生命保険相互会社
- 日本火災海上保険株式会社
- 東京生命保険相互会社
- 住友銀行神田支店
- 四国化成工業株式会社
- 東明印刷株式会社
- 静岡新聞社
- 勝美印刷株式会社
- 三井海上火災保険株式会社
- 三井信託銀行年金企画部
- 明治製菓株式会社
- 住友海上火災保険株式会社
- 住友生命保険相互会社特別法人部

- 株式会社神歯栄サービス
- 日本火災海上保険横浜支店
- 東京海上火災保険横浜支店
- 安田火災海上保険横浜支店
- 山川貿易株式会社
- 株式会社協和企画
- ナーブ・ケア・システム
- 株式会社横浜松坂屋
- 株式会社日立製作所
- グローリー工業株式会社
- 兵庫県姫路信用金庫
- 日本ケミファ株式会社
- 株式会社桜映画社
- ベストジャパン株式会社
- 葵トラベル
- 株式会社かまくら春秋社
- 第一法規出版株式会社
- パレスホテル
- 兵庫県出石郡医師会
- 大塚製薬株式会社
- ファイザー製薬株式会社
- 株式会社山の上ホテル
- 株式会社東京歯材社
- 日本チバガイギ株式会社
- 有限会社武井印刷
- みどり安全株式会社
- 株式会社北陽

内科医から見た糖尿病の小中高生

横浜市立いずみ野中学校校医 塩田善朗
塩田医院(横浜市泉区)院長

1. 糖尿病の分類

最近ますます増え続けている糖尿病は、インスリン非依存型糖尿病(NIDDM)とインスリン依存型糖尿病(IDDM)とに分類される。前者は成人に圧倒的に多く、その発症はふつう緩徐である。そして、治療の仕方は、食事療法だけで済む場合から種々の薬物療法を必要とする場合まで多様である。それに対して、後者はほとんど“子ども”の頃に発症し、その発症の様子は急激である。また、治療では、インスリン注射療法が絶対不可欠である。

しかし、最近の子どもの糖尿病では、この両者の識別が困難な場合が多くなっている。たとえば、成人でもIDDMとして発症するケースが目立つし、子どもでも、まるで成人に見られるように緩徐に発症するNIDDMが増えてきている。

2. 糖尿病の病型と学校

子どもの糖尿病がIDDMである場合には、その管理や治療には、校医や学校の医療関係者の出る幕はほとんどなく、そのコントロールの主体性は主治医に全面的に委ねられている。その子どもと家族は、治療の内容や日常生活の過ごし方などについて、専門の医療機関で十分な教育・指導を受けているはずである。したがって、学校生活におけるリスクについても、低血糖状態を含んだ対処法を中心に熟知しているはずである。もしも、学校関係者の立場から、コントロール状態に疑問が感じられる場合には、校医は、適切な専門医療機関への転医の斡旋を行うべきである。子どもの時期での糖尿病に対する適切な教育・指導は、その子どもの一生を左右するほどに重要だからである。

NIDDMの場合には、肥満などの発症因子が併存している場合が多いので、その除去に向けて、注意深い援助が必要である。また、適切な医療機関への定期的通院を確認することが必要である。

3. 糖尿病の子どもへのアプローチ

糖尿病に対する一般の理解は、残念ながらもまだ十分とは言えない。したがって、親から糖尿病である旨の申告があった場合でも、決していたずらに深刻視するべきではない。唯一注意すべき事態は低血糖発作であるが、それとても瞬時に致死的になるものではないので、数名の教師とクラスメートが、基礎的な対処法を心得ているというぐらいの配慮で十分であり、あとは、その子どもの進学、就職、結婚などへの影響を考えて、極力プライバシーの保全に留意すべきである。

4. 糖尿病予備群へ対策

子どもが増えてきたNIDDMは、濃厚な遺伝的素因に肥満や運動不足、ストレスなどの発症因子の作用が加わって発症する。したがって、校医や校内の医療関係者は、児童・生徒の肥満対策を積極的に行うことが、糖尿病の発症防止の点から重要であり、また有意義である。

とくに、子どもの時期における肥満は、糖尿病のみならず、動脈硬化症、高血圧症、高脂血症、その他の成人病に対する重要なリスク・ファクターであることを、社会全体で強く認識すべきである。

しかし、学校という環境下で、肥満などという或る特定の身体的特徴を持った児童・生徒に対して、大勢の前ではもちろん、たとえ小規模なグループの中にあっても、集団的に指導や啓蒙を行うことには、十分な注意が必要である。たとえ善意からであっても、狭い地域を母体とする学校の児童・生徒の側からみれば、人権やプライバシーの侵害と受けとめられる可能性が大きい。児童・生徒の年齢や環境によっては、いわゆる「いじめ」の種を撒くことにもなりかねない。

したがって、あくまでも個別的に、しかも家族の理解と協力を極力得ながら、慎重なアプローチを実施すべきである。

学校保健活動の充実と強化など協議

全国学校保健協議大会

平成6年度の全国学校保健協議大会は平成6年11月11日(金)第44回全国学校保健研究大会に引きつぎ和歌山県紀の国会館において加盟各団体の代表130余名が参加して開催された。

青木専務理事の司会で藤戸副会長の開会の言葉のあと、村瀬会長が「皆さんからの要望事項をまとめて行政へ申し上げる会である。活発なご意見をいただきたい」とあいさつ。和歌山県学校保健連合会山中会長からは研究大会に引きつぎの協議大会への参加をねぎらうあいさつのあと、文部省体育局学校健康教育課銭谷課長が、平素からの協力に感謝するとともに現在行われている学校保健募金に対しても支援されたいとあいさつした。

このあと矢野副会長、大分県学校保健会吉川会長、和歌山県学校保健連合会山中会長、徳島県学校保健連合会中谷会長が議長団に選出され議事に入った。

報告 平成5年度の協議事項の処理に関して

文部省への10項目の要望事項については平成6年2月14日、青木専務理事代行(高橋事務局長随行)が文部省に出向いて説明し、善処方を要望した。文部省からは極力努力する旨の話があった。

加盟団体教育委員会宛ての9項目の要望事項については平成6年2月14日、村瀬会長名をもって、各都道府県・指定都市学校保健会会長に要望書として発送した。

研究課題については各加盟団体と日本学校保健会を中心に実施する。以上を5年度開催県の吉川会長が報告した。

平成6年度協議題

下記の協議題についてそれぞれ各ブロックの代表から提案の説明を行った。

1. 健康教育の推進について

(1) 児童・生徒の健康に関する対応の充実

鹿児島県学校保健会常任理事 末 永 久

(2) 心の健康に関する対応の充実



広島県教育委員会保健体育課指導主事

沖 本 健 治

2. 児童生徒の健康診断の充実強化

(1) 児童生徒の健康管理を充実させる学校・家庭・地域の連携のあり方

北海道学校保健会事業課長 三 浦 武 雄

3. 教職員の学校保健に関する資質の充実強化

(1) 保健主事の資質の向上と職務の遂行の定着化

(2) 養護教諭の全校配置と複数配置の促進

石川県学校保健会幹事 川 岸 信 一

(3) 養護教諭の養成制度の充実と複数配置

三重県教育委員会体育保健課主幹

瀬 古 淳 二

(4) 養護教諭の養成制度についての研究

兵庫県学校保健会幹事 小西康久(代 宮本)

(5) 学校保健に関する教職員の資質の向上について

栃木県連合学校保健会事務局 森 志げ子

4. 学校保健活動の充実と強化

(1) 学校保健委員会、地域学校保健委員会の活性化について

広島県教育委員会保健体育課指導主事

沖 本 健 治

以上の協議題について質疑があり、次いで各地域から提山された協議事項および要望事項の説明があった。そしてその取扱いは議長団に一任された。

その他として「学校保健募金」について青木専務理事から現状報告があり、一層の協力を要請された。このあと、次期開催県の中谷会長のあいさつがあり松尾副会長の閉会の言葉で協議会は終了した。

北から南から

佐賀県学校保健会の活動

佐賀県学校保健会事務局長 吉 村 勇

佐賀県学校保健会は、地区学校保健会(義務制、10地区)及び高等学校保健会で構成され、学校保健に関する研究及びその普及進展をはかるとともに、児童生徒の健康増進に寄与することを目的としている。

佐賀県学校保健会の最大の事業である「佐賀県学校保健安全研究協議大会」について紹介する。

この大会は毎年実施され、本年度は第38回大会となり、平成6年10月25日に750人の参加者を得て盛会裡に開催された。

大会事務局は、地区学校保健会及び高等学校保健会が持ち回りで担当し、大会の計画・運営に地区学校保健会の総力を挙げて当たり、学校保健会の意識づけに大いに寄与している。

第38回大会では、5人(P T A、学校医、養護教諭、保健主事、管理職)の研究発表が行われた後に参加者を交えた質疑応答並びに助言者による指導講評が行われた。

特に学校医代表として発表された小森才三先生は自分の大学時代からの体験や日々の臨床経験から

- ① 環境との順応について
- ② 子供には、自然のすばらしさ、こわさを教えるべき
- ③ 血液循環について
- ④ 過保護の問題点について
- ⑤ 不登校について

等を発表され、参加者を魅了され質疑も多く出された。なかでも、「過保護問題について」の発表の中で、我々は心と体の健康を考える時に自然界はいろいろな事実を我々に教えている。ペットも現在ほとんど動物病院で子どもを産んでいるためか、飼い犬・飼い猫は毒入りだんごでも知らずに食べてしまうようになった。

我々も、冷蔵庫の中の物は安全と決めつけなくて、腐っているかどうか分かる判断能力を備えておく必要がある。等のたとえて過保護に対する戒めをされた点は参加者に深い意識づけになったようである。

記念講演は「健康とスポーツ」の演題で福岡大学運動生理学教授の進藤宗洋先生の講演があり、疲労骨折の話をはじめに、自然に親しむ機会の減少、戸外での遊び・活動の減少への警鐘を数多くのデータの収集を示しながら講演された。

また、年1回の保健安全研究協議大会のこの機会を利用して各地区及び高等学校保健会から推薦があった「学校保健功労者」「学校保健功労者(感謝状)」、「学校保健・安全優良校」の該当者及び団体への表彰が行われた。

該当者は32名の個人と2団体であった。この他に、定期健康診断における歯の検査をDM歯数で集計した結果から「よい歯がそろそろ学校」を学校種別・学校規模別に総数12校を表彰してむし歯予防推進の啓発にしている。

この佐賀県学校保健安全研究協議大会は、佐賀県における学校保健安全教育推進の中心的役割を担っているとの誇りが、開催地の2～3年前からの計画・準備や運営、発表者の計画的な資料収集と実践を踏まえた発表等に現れている。しかも、これは、教職員はもちろんであるが、三師会やP T A関係の方々も非常に意欲的に取組まれている。

佐賀県学校保健会の活動は種々あるが、概要を紹介した「佐賀県学校保健安全研究協議大会」を中心に学校保健に関する研究を地区保健会及び高等学校保健会の独自性を失わぬように配慮しながら児童生徒の健康増進に寄与するための活動を今後も推進していかなければならないと考えているところである。

学校保健会だより

平成6年度第2回評議員会開催

平成6年11月10日(木)午前10時から和歌山県紀の国会館で本年度第2回の評議員会を開催した。

議題は報告事項として、①平成6年度事業中間報告、②「学校保健募金」について、を青木専務理事から説明があった。審議事項は、

第一号議案 平成6年度センター的の事業特別会計予算(案)について

第二号議案 平成7年度事業計画(案)について

第三号議案 平成7年度一般会計予算(案)について

第四号議案 役員の異動について

その他、であった。

本年度から始まったセンター的の事業の調査研究事業は、児童生徒の骨の健康を守るための調査研究委員会(福永仁夫委員長)、水泳プール衛生管理委員会(澤村良二委員長)、保健主事資質向上委員会(吉田

瑩一郎委員長)の三委員会である。

センター的の事業の特別会計予算は、国庫補助金193,432,000円の普及指導事業、調査研究事業、健康増進事業への配分が承認された。平成7年度一般会計予算は47,110,000円で前年度予算より△1,580,000円のマイナス予算である。それも特定預金取崩しの収入を前年度より3,920,000円プラスの12,420,000円を加えてのものである。これは基本財産運用収入、拠入金収入などがマイナスとなったためである。学校保健募金の一層の成果が待たれるところである。

役員の異動は青木専務理事が専務理事に就任したので、その後任に本吉鼎三理事が常務理事に就任。理事については、四国ブロック吉野理事が久米川久夫理事に、東北ブロック沖津理事が師研也理事に前任者辞任のため交代した。

虎の門(25)

保健室と危機管理

保健室というと、なにか無機質的なイメージがあるかもしれないが、ここには常駐の養護教諭がおられて、学校内では“優しい安息の場”といってもよいのではないのでしょうか。

その保健室の持つ役割は次第にふくれ上がって養護教諭の業務も

多忙になっているようである。すなわち“不登校児”への一つの拠り所として、保健室登校などの現象があり、また、突然死(主として心臓疾患、事故などによる)への対応、さらに健康診断結果の掌握、学校医との緊密な連繋など、まことに多岐にわたるようである。

そして保健室、養護教諭の役割が次第に比重を高めている現在、学校内において、学校長、各教諭の方々などとの、より緊密な連繋が期待される。特に救急の場合などを含めて、全校スタッフのバックアップが必要であると痛感するのである。(竹田 鎧委員)



学童の集団検尿に、 エームス尿検査試験紙。

エームス尿検査試験紙

ネフロステックス®-L

体外診断用医薬品

AMES

バイエル・三共株式会社

東京都中央区築地6丁目19番20号

販売元:

三共株式会社

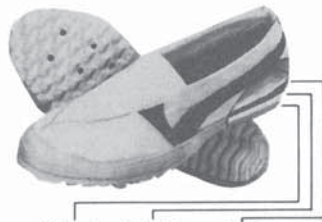
東京都中央区日本橋本町3丁目5番1号 〒103 ☎ 03(5255-7171)

JU1694-S

史利彦夫幸久平朗聖明宏靖宏暢稔彦一裕子夫一謙子郎二明弘郎温博祐雄朗宣輝顯哉稔巧友ク博男子ヤリネ春道子義男清雄晃子一彦夫丸二郎子治幸子治博涉司明也榮
 高尚勝茂照敏眞達 宏 武貞国邦哲軌 京一淳高一惠尚 敬孝史隆信義琢 章ニ隆俊輝マハツ雅 養一昭 光邦美修俊電昭修福不勇伸英 敬康昌万
 城塚出田坂田田井中野 原方 田卷原安谷頭殿沢 尾中本木水木口内井川田本井田浦田木原井中シヤン村保島野野越嶋合見藤 沢川田宮地岡田 崎澤神塚下古串下
 大毛小込日吉勝松田水谷市緒牧植荒松中水仙鶴海桂松田笹玉清鈴川竹鳥白原辻藤池杉下鈴イ柴石山サシ志大大小中大長落稲近堤海広藤雨澤平安林宮斗笠大森加小木
 子子吉子信尋昭子代助美溢子郎夫彬子章昭助也英雄明寿治年博明章道丸道朗ツ幸藏エ郎奇誠衛江範古夫子雄二涉久子子隆明郎也哉昭二院孝史美一尊代美朗弘夫二
 信み惠光公千 美三金清 明甲忠邦 孝浩建達欣良通英武雄千 高 素乙直 カ信俊タマ 実静勝良通京秀浩 盛房節 定達達正正良丘公貴貴俊 昌武文 弘雄
 満池島浜田井沢梨地淵沢田谷村川島谷富谷嶋村本山田崎口田戸田能田川口沢井子藤藤木野田辺原原利詰出熊下口島 崎積藤出田田田狩并出藤本川尾藤木地川武村本
 財小真白岡松相高宮馬小永大木長矢細倉中宮中橋中小山溝本能横伊成清山野酒金齊佐荒草和田北相玉馬向大道山田関宮室齊奥森原山猪三日齊坂柳中齊鈴菊湯辻中岡
 造男司朗穂江美雄司ミ義樹樹治宗力勇郎也伸志一朗子治直龍康元代聡昭二雄伍朗男哉美博介之之規久也三巳勇彦也行郎子也学治章和誠一夫一司裕人夫夫夫夫正一稔
 量庸尚卓静良正英脩ユ英紀秀捷靖 市晋善立良 優和 忠文 正 裕惠外金勝孝一光真浩広俊裕博欣良重 義文政一由博 俊晴剛 元辰登扶正成幹利益正寿正
 卷島土木田谷目 馬橋橋橋橋橋橋下代中木島倉倉田田中田田茂宅宅岡山田田原柳瀬宮山谷谷田木田村尾尾山村浜井長岐原井内田上藤部合原島田戸戸原施郷五田
 小小郷佐坂淡鎮関相高高高高高高高竹田田露中新新原原高半浜丸三三三守森山山小小海小小淡淡重鈴園田武武橋辻辻坪坪朝土萩藤堀山井江岡落河小島関関萩布田三秋
 錫仁誠司功秀敏彦成正正樹民雄幸三人郎寿郎名隆平夫治司夫明一夫吉恒子護彦也志子耕睦衛也郎明惠望雄吾雄夫文雅一夫夫洋久雄久也博秀啓傑也光志造行澄明孝昭
 齊 耕有宗秀虎隆高 茂一幸忠剛尚暢幸四正 隆武芳賢敏茂純光洲 純 俊知忠篤 新和 美公定尚瑞恩高康ム増武武典育輝哲隆友 哲 厚耕紀香義
 井浦上 正月月口口田田辺本本木野山澤田田辺田智智庭井根山木浦沢田上上上上上井井村田田美 阿藤森原田藤田山藤ム田山山川山津塚平野間西野島池田世世光藤藤
 三三水迎宗望望山山山山山八矢横義吉渡渡渡渡和安秋新青青青相相有井井井井井稲今今石池宇鶴畦上内遠江青伊岩田池字宇及大大大大大笠川川貴菊清久久越越近近
 久俊哉樹吾彦剛了隆之男夫子滋次磨雄一始雄司子之司政夫眞子三博彦治豊夫一志道晃培郎雄子行治一治仁彦夫尚二史彦裕久一智一文男一彦保子之誠誠哲己子一宏和
 哲秀省勝正 正俊敏悦 勝仲俊浩 利隆良啓孝光恒 京亨隆雅晃 英惠正則稔成伝登や宣光荣正昭敏和 健博龍 幸俊清慎周光要幸 桂克 直綾洋明義
 島藤藤木木間沢藤伯寫井枝藤藤田井原谷谷谷井水水野田田山谷川木木木 永部中中 倉部郷浦尾山川村村島嶋尾宮山川崎井口原野谷田坂多井岡沢本壽嶋嶋前木
 小後佐佐佐佐佐佐三斎斎沢下篠波波波波波庄清清惟島島杉菅鈴鈴鈴鈴閔竹竹田田田戸戸東豐永中中中中中中仲猫野長浜広樋樋福福細細保本松松松松馬馬宮宮溝
 夫昭也子作子郎輔男郎修之郎郎孝磨次之彦身久昭真昭司忠昌仁満潔夫介彰一卓紀二夫紀男久一平司見二道一彦雄男昌司仁哲学俊之彦夫尚仁子男晃子正弥彦一朗夫夫
 浜弘欣信英順二賢善洋 正俊徹 但啓克俊修輝保 惠竜秀 明 秀駿 仙 重丈幹洋俊 勝壯晃裕雄寬真光忠富一健 正茂武正 雅玲幸 津好信英秀藤泰直
 波上村村口 場本田野山 口田田木木田田澤村分田本川村原崎井崎木木木見中辺山 越谷田宅川名内村田口川野森谷谷木野崎藤原村野井塚村口寄野池池田下田山
 難花花花橋林林馬松前水村森山和和青青池宇大木国坂坂札志篠島白杉鈴鈴鈴鈴鷺田田西林船前増三山山横奥岡小小大大大大尾加河河梶金金上川片片菊菊菊木古小
 伸滋明義興吉一子郎子雄篤夫幸明夫二徹夫郎郎修弘夫瞭裕和行平通和雄夫眞雄輔夫夫久雄祐雄司郎也子章浩進男子彦雄德二生利美達治司彰助二庸朗仁生三敏秀晃男
 公 伸正忠諄 博吉惠英 一和正隆修 俊孝三 宗茂 守光良 信光敏 静恒 富喜英宏嗣東晃順美博 光敬守高義信郁秀晴 慶 隆健 達 俊恭 伊 正
 崎木橋橋橋橋木木石川内 西野波波波村村山島本野間間井川内尾尾木宅伏井田田田邊藤藤田山山馬藤黑山木田木井部幡山澤和田田 味藤辺島田崎木橋熊島林中田村島波
 杉鈴高高高高高力津辻椿中中難難新新西羽橋日平平古善堀松松松三室森山吉渡阿安会秋青有伊石上植梅復成岡小大大落鍵串與五佐澤霜須須杉鈴高高多竹田戸中中難

子士孝浩江平孝郎也一彦磨甫克美之子昭治造子彦伸雄信士郎夫英一郎明洋磨重恒吉豪宜也積郎亨郎彦慧生夫一功昭彦郎雄理寛雄勇子進治敦介郎子三德慶雅毅一透章
 智忠 純良正賢一 武通翁正琢富 郁育和博道虎德健 佐嘉健義昌 琢嘉 浩 正樹忠史 敏喜 貫英純 宣昌龜一眞 久 敦 計四乃良正常要銳兎 雅
 原上藤田内宅橋石野下島尻徳田村原原山沢田須本岡山田内 上崎松腰代原見山澤川川部本村田田江地開本田川木口角田田藤木倍田川澤田方中日本林松江野内井
 篠井奇畔毅三倉平上森綱江神山中栗清増岩前黒松秋月小太堀南赤山平竹田栗高小金菊長馬山中神太池横新梅森砂青野大半西後青安熱長岩木北田春鈴鈴小久富日竹正
 夫史忠美繁守雄郎吾稔枝藏宏貞子郎宏平亮海子一昭賢明明院宏雄克治代雲子史裕二雄仁次義一子子助哉夫昭波祐則洋よ一徳弘修子子端子也三哲郎男男八彦哉親治
 茂敏 寛 正和幸誠俊 芳富 俊澄誠 龍鵬清元信正文 文 仁敏昌利久景歌圭 昌升信光重英明光満正敬 金博善一み孝正 佐泰博志拓昭 昭哲十大敏徹 敏
 谷松井郷山橋井東島島原山木山野木 原柳田内峰上沢井田 梨本田田谷藤賀藤本 中橋江野辺田藤水田藤 山田村山村野木村木中野野山山野山 川井井島倉田保
 築赤今本須石土伊大中松高中池河高原松青和竹島村西松鎌森北坂橋品原米後佐伊杉森田高大町渡池加清山佐泉小武宇東中小鈴松鈴田高高横横萩高桂下荒長川白野森
 夫雄和雄ヨ二江彦満巖江彦行昭仁織雄子子り毅武一寛朗生治道彦正肇子司太也哲三胤眞實夫攻夫義三雄郎子郎哉利院子正子司策美子晃夫豊靖傳滋一史院一博子二文
 一一 キ洋克俊 敏朝正 紫久景キヨカ 誠 達秀 直光康 葉祐源徹明甲和 慎 武信幸敏二道精博勝医澄 迪里萊富花 秀 幸省卓丘啓泰眞健
 江島末梨原池川下藤野野藤川村場部萩部方里木津澤田 本野沢久崎林山田関井 口 木崎野本 頭林上水本保島田内藤島富浅野 田川口内田村橋橋田出地谷屋谷林
 富兒永高大越宮伊浜中途中馬阿矢渡緒九村大奥堀林坂河野大大小横久井藤張竹森桂松菅福段大中井安岡久濱今竹加矢岡湯長岡山神山山藤田石高横日空瀧門中古
 郎郎郎男一子夫雄功所也光雄夫樹二代弘久彦太也武朗幸郎惠實弘孝信仁雄明夫子一吉宏郎子男ッ子夫昭子豊吳彦子郎博之美章郎彰透二博彦治晚朗之典彦夏院茂之隆
 大二 吉 啓和正 療 充 常迪芳浩昭正芳安澄泰文三重明泰 武 好 寿久輝美欣新 敬瑠篤七静道元迪吉 孝幸四光敏博 四英 章 敏喜 利忠鉄瑞雲医 基吉
 井村田 本田井野若野島住田藤川川田野盤瓜水東坂橋井井幡原田山本川岡合高川瀬田田 井嵐川辺倉野山根藤水田野田島 田川地 澤馬村永和崎田辻辻田上上田詰
 白野植東杉波藤吉八中福塩戸近西吉岡狩蕃苦清伊黒来五高小小岡西宮藤松落大豊広和内林安五赤渡藤高高築加清大岡吉答仲成風菊辻新転井福三岩寺和和飯井湯森西
 三久武雄男一治博樹修実志彦泰博昭世典夫保子子り院義徳雄和男行裕子則那彦蓂子子彦勝夫子造元子彰元彰雄子忠茂光夫晃院徹定子子晃子男典彦子雄大達英雄司
 建忠 次住啓正芳秀 州俊 為直英剛昭 信栄ひ病孝俊道 哲政 三信康邦 昌慈弘清敬暢道修 邦昌 英いと 和秀和 病 時寿章 清道喜美澄保 正又龍里
 橋口村 野我縣 原村村阪野 村原永池崎島井木東 川崎住野倉島多島村瀬川田藤田津上谷野垣嶋口倉家遠本田川峯下米田潤原田藤田見江 村手明川山又崎原浅
 高谷中堤大曾山森知下田藤船神森今栗松小宮中藤宇江鴻緑野有金長松本津内永小脇安飯椎井木栗板中小沖菅篠阪上及小山久持等菅沼伊宮眞若富中井虫豊内道尾小湯
 男洋雄枝環子院實男透子隆院夫茂子郎郎之晃信雄良司史隆順夫隆雄一昭子雄穂岳一子英哲裕士治毅子啓男典久子武一紀陽彦平甫郎枝隆二康キ郎弘海榮己志夫昭悟明
 昭彰秀初 安合 彰 昭重医伸 まき 久宣俊慎恒一禮尚慶孝和正良淳 照輝秀英榮登通 彰清 京利保昭富富正祐康兼好鶴 一信 浩正ミ東 大振昌厚公博信光
 本利松松保川総 辺谷部島方部中賀瀬生藤井藤田神田田屋水江田初本川沢井山木西村部谷藤崎島松富田坂坂田中永部林崎田江野尾山瀬水遠越田中栗 谷川米尾島邊
 塚吉高村大水佐林野関服中北阿山浅広安加平伊山石藤杉古清堀黄居吉北吉安叔鈴大中大渡熊後松北友三近宮千菅田岩矢小川内松永松岡廣水安船山島若東塩石久牛矢渡
 明院科実子宏文弥一香子口成子正和男治義男美博子彦一保勉大子品馬稔生科雄子清弘男成重和良男義司脩彦良良好齊敬雄恭幸仙郎子均男夫三男子仁成裕代代胤二
 俊医内 市一博幸眞 禎ヒ喜明 日俊順昭岩芳 恭博慎 惠信 芳 東眼義さち 敏義康千 ひ 邦幸武 祐記守弘 正 俊素太美 忠庸慶常冬敬公国千文英育
 田本村本田中野橋浦本山辺橋橋野木越口浦科丸師沼積澤田良築畑江原山本原川田内本縣山川藤藤本原橋口田前垣林田田岩藤庭石島花好重井野南内崎村安橋村月田
 石山北山柴田真高三松中渡奈奈窪鈴堀野杉仁吉寺天山吉高多都大入田横宮北湯廣池山森山唐松内内福河魚山半御谷中半神立佐馬黒真尾三實福宇長竹宮藤中高河定和

一子男行徹久夫允雄夫郎長一夫望豊啓郎一孝徳夫基二夫枝吾俊夫好三隆子弘男平一朗郎子子亨一哉裕明善章正則子雄樹弘彦典應雄子等枝美英三子生之一夫豊敏信
 淳徳寛益 則満 富敦善靖欣和洋 四真敏武英 勇正珠桂典英孝裕 此昌雅一時史卯敏百識 惠輝 秀至靖 英俶瑞正 邦大喜文純 喜淑昭泰信幸榮善信 智
 山山橋尾保研信山島尻島井瀬口辺口倉岡浦水木沢味井橋上前森澤田山村藤東木木司倉藤津山 山村山井永藤宮宮 田川田野田上谷崎本 川近田田会岡藤來
 石石高牛大山武牛木川桑皿広川渡木朝長三清鈴青有厚石石井大大小小小河加小佐佐莊白新水杉巽立津津富富内二二林林原正古本牧守三三宮松森山山吉吉渡進進賀
 也惠一夫司郎子肇士夫芳郎子夫勉郎郎子郎昭彦三三康之信夫一力昌治夫重和男透吉信香枝枝雄子男郎泰仁夫子昭郎曠彦月雄圭子子助郎力枝子男彦尚伝智弘一美子
 龍計晃敏勝孫増 峻嘉信福幸和 史英ト和友信健申裕孝元俊秀 義義正徳友義 致 静美民教寿昭知正 敏葉隆眞 敏 義 登俊美慶道 千輝光孝 价成和信
 波村上居本本田戸藤村谷田木谷井川岡川野島柿村山田貫松須木井塩竹藤山木尾田川沢崎松田島富星橋山川田井山葉本林島方本下田築鹿山上下本田切原田村葉田生野木
 難木井松藤安木伊木水福植大荒清定長高大志中星代大赤那藤坪大長齋丸鈴神寺中金宮池島矢納光本森広松薄横千岡小川緒笹日浪都秋丸井松山小小藤島田千岡桐水村
 治允一円夫惠郎男一夫惠亮己義修美茂郎太子慎啓晃典一久進子弘夫裕久信科二院博郎一子子宏子信武已彦茂夫郎郎靖久明誠信達仁彦雄雄壯弘人彦満透勳子真郎子
 純 榮豪啓秀部一敏澄 祐克正 睦牧利宏凜 勝 太幸 芳 宏 善雅眼伸医茂征幸律美祐と師 克泰 信部政 恒英 嘉譽 文文道卓剛和和 由美 淑和
 野野西上竹本嵐辻田山瀬敷耕田林上野川黒川浦野上木塚山藤藤井山 口田井岡山本本條 田下木川崎久居 田原月原藤矢井 山木野本野崎崎崎岡山富月田田松水島
 瀧澤小井大松五小福浦永山世飯小村浅長石石松山赤鈴石秋佐佐金高辻山黒藤松青藤坂中森多木三荒宮津土澤岡梶出平齋大石林藤荒奥藤奥戸山山松永倉若角角小清中
 根夫忠子二真毅男匠修子子雄治子路子祐孝郎已清郎郎剛夫秀明巖劫郎夫二夫郎子郎之司完絃稔茂子智夫一二治雄良修朗公一昭枝甫昭寛子弘直雄之謙彦男任高郎樹一
 石明義裕雄 佳 艶典仲公雅宗久美洋忠友克 秀哲正明和 悦輝春和久和陽弘博 桂 雅章豊榮達久 新次 英辰雪勝俊 玖 正悦義 松定 義敏春洋
 間塚野川土谷本西藤伯木島田藤木本口賀村鳴郷木崎田塚田田瀬木井田崎崎形井木沢本路鳴本木寺 野本岡坂木辻庄藤山山林木津田念塚山川原本井崎 瀬中 林内高
 平大波宮進菅杉小後佐上河久衛植山山川大野高南鶴白野大安吉茂亀半山梅尾新大影小石榎仁葉街葉松菊保根西本伊下小鈴彌鎌知石平增市松石時吳成田東小池金
 深樹臣次康造章孟浩平雄三昭雄雄和子一子子章一男草郎彦男豪一彦文夫三朗次嘉子雄子成幸博三順彦夫子齊宏子仁之子徹夫介薰治英子雄次裕治光鶴子福健久毅郎雄
 正晴傳 謙光 義糧貞省 忠義武恵良寿未 玲一千陸文貞 恵月一幡公史正孝常恒万千 龍 尚秀道 三 久福 晴伸 国伯光賢浩 昭重千万幸 和志一春
 石野林水藤井田中 川沢藤海桐藤野高野泉田井原井井倉木井原 田野川下田沢井田田渡見見村田中玉水崎浜井野村野路濁方辺野夏沢野木部田中藤田崎沢村谷 上野
 平美古清佐長高山林宮相齊勝片佐吉大境小山酒秋今今朝青今福関高桐助山本宮村山石石花中花中花中高田高清上長石末田関山田緒緒渡秋江深河青阿城川佐寺山三木熊一池平
 三三子子昂彦男道昭章男郎子陸亜孝子彦子男三久夫子一明美德美彦人郎郎子治隆恒男子雄助院清修之郎修夫靖哲良彦忍正礼彦治登郎力事子祐悟信枝院三己司臣夫隆
 俾捷富照 元和正貞 道彦節弘約清公堯裕富遠昭正敦榮裕寛厚由俊綱嗣敏敬榮 和弘真良 誠桂 春 泰忠 公 正英 卓信一章輝未病榮知健親隆義
 本崎合中戸條矢 林島野井賀島村下野鏡後田口村藤沼元島藤口打澤井川悦生賀積田 澤田ら村橋保良村里原部津野村木山川門崎木西本島山原谷元園泉輪井木村嶋
 山河田田鳴西戸原堀神副藤上大塩田福橋榭向梶神吉遠長橋樞内山嶋吉宇小嘉松安穂前原深藤た八大目川野市渡深上田佐森長谷鈴大杉中丸荏荏大秋梅豊三桜佐西賀
 男樹之雄翠雄吉郎次佑人隆弘香章一夫二正剛男隆金子起彦サ子保子次克智信輝夫二子介英美朗郎子男美子和治之寛守子夫徳郎寛宏正榮暉子子子也郎雄子子子誠子弘
 一正琢三 恒準友桂佳正 泰智隆慶義敬敏金夙重 京直寿マ和 昌堅敏 雅盛康良由鍊 明一松弘富富京貞謙誠 照秀明良 一幸清紀睦フ欣久昭道郁恵 歌昌
 木橋村村日崎田瀬川川藤原崎田川田嶋立木木田島 原森谷野沢塚塚葉倉泉中島林藤岸田沢下川田中田 村宮橋永藤永沢内島藤子原川山崎目川藤本沼本地谷見辺島
 高野野田朝小和広浅浅齋篠山長石水飯足玉鈴城中杏荻小桐友柳戸千小小佐高小加山岡深森石村田前岡木田高神内宮吉竹八周金松草中岩勝相佐武永柴下福大福田中



アウツソール ミッドソール 中敷
(ラバー) (衝撃吸収材) (ラバースポンジ)
三層式ソール

教育(呼吸・吸圧)シューズ

JESに学問を!
科学された教育(吸圧)シューズ!

 日本教育シューズ協議会 TEL(086)272-5463

健康へのひと粒 歯・骨を丈夫に...

ビタミンADを含んだ... 服用しやすい
ゼリー状ドロップ剤



カワイ肝油ドロップ

 河合製薬株式会社

〒165 東京都中野区新井2丁目51番8号
電話 03(3385)3111~7

エイズの正しい理解と指導のための授業展開例を、最新の情報と事例で掲載したハンドブック。

エイズに関する指導の手引

(財)日本学校保健会 編 / 文部省学校健康教育課 監修 ★B5判・80頁・定価800円(税込)〈千240〉

上記書籍の海外PR版で、海外からの派遣教師等関係者のためのエイズ教育ハンドブック。

エイズに関する指導の手引 [英語版]

-Guidelines for Japanese Schoolteachers Conducting AIDS Information Programs-

(財)日本学校保健会 編 / 文部省体育局学校健康教育課 監修
★B5判・88頁・定価800円(税込)〈千240〉

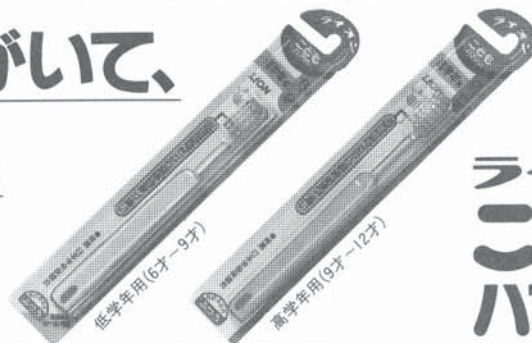


第一法規

〒107 東京都港区南青山2-11-17
☎03(3404)2251/FAX03(3404)2269

食べたらみがいて、 ムシ歯予防。

食べたら、しっかり歯をみがいて、
ムシ歯を防ぎましょう。



いつも暮らしの中に
LION

ライオン
こども
ハブラシ

300自動うがい器

日本水道協会型式承認済

ご連絡は... サラヤ株式会社 ☎(06)797-2525 東京サラヤ株式会社 ☎(03)3472-1521